

スポーツに対する熱意を伝える スポーツ推進委員

スポーツ推進委員の役割は、スポーツ基本法に「スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う」と定められています。

市では30人のスポーツ推進委員が委嘱されており、地域のレクリエーション・スポーツ活動を推進しているほか、市や教育委員会が主催する各種スポーツ大会の企画、運営を行っています。

旭市スポーツ推進委員を紹介します

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

会長 菱木芳雄 (豊畑地区)
 副会長 片桐文夫 (飯岡地区)、宮野秀平 (干潟地区)
 宮内良子 (琴田地区)

- 中央地区 成毛勝雄、齊藤俊一、小島美千代、平山友子
- 琴田地区 深井俊行
- 矢指地区 飯笹勉、加瀬千歳
- 富浦地区 大橋誠治、鶴澤葉子
- 共和地区 長谷川みず恵、平野秀樹
- 豊畑地区 高安秀子
- 干潟(旧旭)地区 佐久間里美、知念清壽



①旭市飯岡しおさいマラソン大会(2月) ②あさひスポーツフェスティバル(10月) ③ぼるぼる(11月) ④市民駅伝大会(12月)

- 海上地区 浪川勝子、江畑理恵、遠藤俊彦、大久保昌浩、越川哲哉
 - 飯岡地区 金山理宏、梅原清活、林宏、野口稔
 - 干潟地区 衣鳩直喜、小澤昌志、内藤隆司
- ※敬称略。

広報で振り返る

あの日あのときのあさひ

第10回

1987年(昭和62年)7月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報うなかみ昭和62年7月号を紹介します。この号では「県民の日」を記念して開催された、さまざまなイベントを報じています。

表紙は、飯岡海岸で開催された「ちびっこ海浜運動会」です。海上町と飯岡町の子どもたちが、大縄跳びや目隠しボール蹴りリレーなどで競い合いました。そのほかに「みんなのスポーツの集い大会」として、剣道、ゲートボール、ソフトボールなどの競技が行われ、子どもからお年寄りまで、約1,000人の町民が汗を流しました。



みんなのスポーツの集い大会

昭和62年の主な出来事

- 国鉄が分割・民営化され、JRグループが誕生
- 俵万智の歌集「サラダ記念日」が大ベストセラーに



表紙